

## 慢性透析に関する資料表

日本透析医学会による毎年末の統計により、私達透析患者の現況が集計されています。統計調査対象施設数は全国の4,196施設で回答施設数は4,125施設、回収率95.6%ということです。

これは東京都に關係するものを会員の参考資料として抜粋して掲載させていただきました。

1. 施設数 4,125施設 (53施設増 1.3%増)
2. 設備 ペーシエントステーション 114,702台 (3,012台増 2.7%増)
3. 能力 同時透析 113,174人 (2,814人増 2.5%増)  
最大収容能力 382,218人 (8,691人増 2.3%増)
4. 慢性透析患者 290,675 (8,053人増)  
 昼間238,878人 夜間41,712人 家庭透析229人 CAPD9,856人  
 導入患者数 37,543人 (128人減 0.3%増)  
 死亡患者数 27,729人 (828人増 3.1%増)  
 5年未満透析患者数 男88,062 女48,025 不祥 8 計136,095  
 5年以上10年未満透析患者数 男43,646 女27,117 不祥 0 計70,763  
 10年以上15年未満透析患者数 男20,493 女14,331 不祥 0 計34,824  
 15年以上20年未満透析患者数 男10,033 女7,939 不祥 0 計17,972  
 20年以上25年未満透析患者数 男5,304 女4,502 不祥 0 計9,806  
 25年以上透析患者数 男5,853 女4,808 不祥 0 計10,661  
 人口100万対比 2,279.6人(66.2人増)
5. 最長透析歴 41年8ヵ月
6. 導入患者平均年齢 67.3歳 男性66.3歳 女性68.9歳
7. 導入患者原疾患  
 ①糖尿病性腎症 16,414人(44.5%) ②慢性糸球体腎炎 8,108人(22.0%)  
 ③腎硬化症 3,936人(10.7%) ④多発性のう胞腎 853人(2.3%)
8. 2009年末患者平均年齢 65.8歳 男性65.0歳 女性67.0歳
9. 2009年末患者原疾患  
 ①慢性糸球体腎炎105,202人(37.6%) ②糖尿病性腎症98,252人(35.1%)  
 ③腎硬化症19,974人(7.1%) ④多発性のう胞腎9,429人(3.4%)
10. 2009年死亡患者の死亡原因分類  
 ①心不全 5,973人(23.9%) ②感染症 5,214人(20.8%)  
 ③その他 2,485人(9.9%) ④悪性腫瘍 2,356人(9.4%)  
 ⑤脳血管障害 2,100人(8.4%) ⑥カリウム中毒/ 1,165人(4.7%)  
 頓死  
 ⑦心筋梗塞 1,028人(4.1%) ⑧悪液質/尿毒症 685人(2.7%)
11. 1983年以降導入患者生存率  
 1年86.8% 5年60.4% 10年36.6% 15年23.0% 20年17.8% 25年15.8%
12. 2009年 東京における透析患者数 28,079  
 昼間22,075人 夜間4,995人 家庭透析6人 CAPD1003人
13. 透析液エンドトキシン検査  
 毎日検査・18施設 毎週・84 隔週・223 毎月・1030 年数回・1,461  
 年1回・554 なし・407 記載無し・48 不明192 合計4,017施設
14. 透析液細菌(cfu/ml)  
 0.1未満・1110施設 0.1~387 1~340 10~163 100~36 不明481  
 記載無し1,500 合計4,017施設

(以上日本透析医学会調べ2009年12月31日現在)  
(抜粋 岸里)